

Agilent ULTRA 標準物質

食品安全性検査用の
マイコトキシン標準



アジレントのマイコトキシン標準：ワークフローの重要な部分

マイコトキシンは、摂取すると有害となり得ますが、穀物類、殻果類、香辛料、加工食品などの食品に含まれる天然起源の毒物です。多くの国はマイコトキシンの厳密な最大許容基準を設定していますが、コンプライアンスは厳しく、特定のマイコトキシン、食物マトリックス、対象消費者、規制機関に応じて異なります。

アジレントは、単一のサンプル中の異なるマイコトキシンを検出するための高スループットメソッドでも、日常的なモニタリング用の高速かつ簡単な希釈注入アプローチでも、分析者が必要とするものを提供します。

参照物質（RM）は、ISO Guide 17034 準拠施設で製造され、ISO/IEC 17025 および 17034 認定試験ラボで認定されています。各 RM に、ISO 適合性、実際の濃度値、測定の不確かさ、および NIST へのトレーサビリティを裏付ける分析証明書が添付されます。

説明	濃度	分析対象物	容量	部品番号
アフラトキシン M1	1 ppm	1	1 mL	TOX-UNI-AflaM1
アフラトキシン M2	1 ppm	1	1 mL	TOX-UNI-AflaM2
デオキシニバレノール	100 ppm	1	1 mL	TOX-UNI-DON
ゼアラレノン	100 ppm	1	1 mL	TOX-UNI-ZON
フモニシン B1	50 ppm	1	1 mL	TOX-UNI-FumoB1
フモニシン B2	50 ppm	1	1 mL	TOX-UNI-FumoB2
HT-2 トキシン	100 ppm	1	1 mL	TOX-UNI-HT2
T-2 トキシン	100 ppm	1	1 mL	TOX-UNI-T2
アフラトキシン B1	10 ppm	1	1 mL	TOX-UNI-AflaB1
アフラトキシン B2	10 ppm	1	1 mL	TOX-UNI-AflaB2
アフラトキシン G1	10 ppm	1	1 mL	TOX-UNI-AflaG1
アフラトキシン G2	10 ppm	1	1 mL	TOX-UNI-AflaG2
オクラトキシン A	100 ppm	1	1 mL	TOX-UNI-OchrA

マイコトキシンに関するアプリケーションノート

- Agilent Captiva EMR-Lipid クリーンアップおよび LC/MS/MS を用いたチーズ中の複数の種類のマイコトキシンの分析：5991-8694JAJP
- Q-TOF LC/MS と精密質量ライブラリによる食品中のマイコトキシンのスクリーニングと検証：5991-5667JAJP
- Analysis of Mycotoxins in Food Matrices Using the Agilent Ultivo Triple Quadrupole LC/MS (Agilent Ultivo トリプル四重極 LC/MS による食品マトリックス中のマイコトキシンの分析)：5991-8962EN

アジレントの 4,500 以上の標準物質ポートフォリオの利点

注文が簡単

手間のかかる事務処理がなく、アジレントの販売代理店で簡単に購入できます。

幅広い製品ラインナップ

多種多様な標準物質をご用意しています。

カスタム標準物質※日本未発売

標準物質のカスタマイズが必要になった場合も、アジレントならカスタム標準物質を簡単に開発してお届けできます。



最適な分析結果への道筋を照らし出す統合型ワークフローソリューション

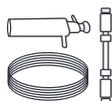
サンプル前処理からカラム、消耗品、機器、そして標準物質まで、ワークフロー全体の製品をアジレントから購入できるようになりました。これにより、消耗品の検討に割く時間を短縮することができます。



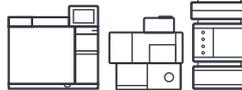
サンプル前処理と
充填



標準物質



分離



検出



分析



サービス

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE43084832

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2022

Printed in Japan, September 30, 2022

5994-5358JAJP